



# Ose High School NEWS

2025年12月22日付け 茨城新聞 14面

2025年(令和7年)12月22日 月曜日

茨城新聞

## 努力重ねる大切さ訴え



生徒に金メダルを見せ触ってもらう永野雄大さん（左）＝常陸大宮市上小瀬

常陸大宮で講演

訴えた。

小学1年で競技を始めた永野選手は、1992年のバルセロナ五輪日本代表の父・義秀さんの教えを受けた。高校生で入ったJOCエリートアカデミーで、他選手にかなわず挫折を味わうこともあった。中大進学

後、「眼があつたら練習していく。そしたら結果がついてきて、国内で負けなくなってきた」。一つ一つの目標をクリアし、その先に五輪出場があった。

2021年の東京五輪では、3位決定戦で涙をのん

## フェンシング男子 パリ五輪「金」の永野さん

パリ五輪フェンシングの男子フルーレ団体で金メダルに輝いた水戸市出身の永野雄大選手が9日、常陸大宮市上小瀬の緒川地域センターで、「夢への挑戦」と題して講演を行った。同所の市立明峰中と県立小瀬高の教育講演会で、両校の生徒に向けて、夢に向かって努力する大切さを

だ。しかし、切り替えて「自分はスピードがあるわけではない。どうすれば勝てるか。全身の体の動きにどう剣を合わせるかが武器」と長所を伸ばした。悔しさをバネにつうい練習を貫き、世界で通用するようになつた。

## 中高生の夢実現へエール

中高生の夢実現へエール  
（高畠和弘）

パリ五輪では個人戦に出場できなかつたが、団体金に目標を定めた。イタリアとの決勝で、1点リードの場面で出番が回ってきて、5連続得点で優勝をたゞぎ寄せた。「緊張で頭が真っ白になつたが、駆け引きより、自分が決めた動きを出そうと考へをシンプルにした。極限の場面で練習通り力が出せた」と振り返つた。

最後に「何か好きで熱中できる事を見つけてほしい。全力でやる切るものありかな」とエールを送つた。小瀬高3年の長沼祥太さんは「結果がすぐ出なくて、努力し続けていれば結果が変わつてくる」との言葉が印象深かつた。自分も将来の夢を実現したい、「明峰中2年の岸なをほさんには『負けても、すぐ立ち直り、次へと向かう姿がすごい」と思った。諦めずに挑戦する姿を見習いたい」と感想を述べた。

“OSE Challenge ~catch your dreams~”